

3類型	鋳工業品	通巻番号	3-24-185
地域資源名	多摩産材	認定日	平成24年10月1日
地域	東京都西多摩郡檜原村	所管省庁	農林水産省、経済産業省

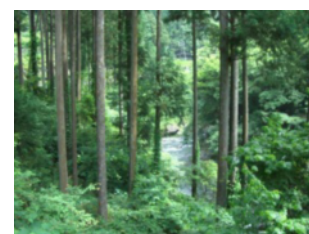
事業名：多摩産スギ材の断熱性を生かした木製内窓『いいうち窓』の開発・販売と地域振興

会社名：飯田ウッドワークシステム株式会社 所在地：北海道札幌市南区
真駒内曙町4-10-10
連絡先：TEL：042-588-5845 (東京工場)東京都西多摩郡檜原村本宿702-1
FAX：042-588-5846 H P：http://www.iimado.com/

事業概要(新たな活用の視点)

檜原村は、東京多摩西部の森林地域の中で、約1万haの森林を有しており、昔は林業や製材業が盛んな地域であった。その森林の大半がスギであり、スギは他の樹種と比較して軽く軟らかいという特徴から、建築材としては比較的低廉な状況におかれている。

本事業では、スギ材の軽くて断熱性が高いという特徴を活かして、多摩産スギ材を用いた高气密・高断熱な、改修用(改築・リフォーム)の内窓『いいうち窓』の開発・製造・販売を行う。



【多摩の森】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

多摩産スギは、他地域のスギに比べて比重が低いいため軽くて軟らかい。これは、木材の中に多くの空隙を含むためであり、高い断熱性を持つという大きな特徴にもつながる。本事業では、この多摩産スギ材の高い断熱性を活かし、軟らかいという特性は、製造方法等を工夫することで克服し、高断熱・高气密性を確保すると同時に、デザイン性も兼ね備えた内窓を開発する。



【『いいうち窓』イメージ図】

◆市場性

近年の省エネ志向とリフォーム市場の拡大に伴い、内窓への認知度・ニーズは高まっている。また、取付工事も1日と簡単に行えるため、消費者に受け入れられやすい。

◆販路

マンション・学校向けの「量産タイプ」、戸建住宅向けの「個別生産タイプ」の製品を開発し、量産タイプは関東を中心とした建材メーカーへ、個別生産タイプは、50代～60代の富裕層へ向けて直販を行う。



【檜原村中学校での実験設置】

地域資源における関係事業者との連携

本事業では、檜原村で製材されたスギを材料として使い、檜原村の製材業者・木工会社などと協同して生産する体制を基本とする。また設置工事においても、檜原村を中心とした多摩地域の木工、工務店と協同して行う。